



保育園待機児童ゼロ実現と 保育士の処遇改善について

日本共産党 松本 正幸

問 保育園に入れない待機児童問題は大きな政治課題となっています。「保育園落ちたのは私だ」「保育園やめたのは私だ」など、父母や保育士が自治体にとどまらず、国会議員や政府に保育士不足の状況や処遇改善を訴え、国会を包囲するような要請行動も行われ、メディアでも大きく取り上げられています。政府の待機児童解消の緊急対策による更なる規制緩和で、保育士の配置や部屋の面積の基準が国基準より手厚い自治体に対し、国基準までの緩和が要請されています。これでは現場で働く保育士の労働強化や、子どもの安全を脅かすことになりかねません。

市の待機児童ゼロの進め方と、保育士の処遇改善について伺います。

答（市長）：待機児童問題は喫緊の課題であり、民間と協力しながら保育施設の拡充に向け鋭意取り組んでいます。処遇改善は、民間保育会からも要望があり十分理解して

いますが、消費税率の据え置きなど国の動向により徐々に進めるしかないと思います。理解いただきたいと思います。

答（保健福祉部長）：公立では、昨年10月に中新田保育園で60人、本年4月に上河内保育園で60人の定員拡大、民間保育園では、本年4月に1園が30名の定員増、認可化へ移行した園が60名と、公立、

民間合わせて210名の定員増を図りました。保育士の処遇改善として、国では平成26年度に保育士人

件費の2%相当を増額、平成27年度は1・29%相当を運営費の単価に増額している状況です。

その他の質問

・国民健康保険について

・ひきこもり問題への対応

について



安全な保育環境の実現を



市議選における居住実態の ない立候補を避けるには

太平会 氏家 康太

問 市議会議員の被選挙権を得るには、その市に継続して3カ月以上住んでいることが条件で、住民票がそこにあるだけでなく、最高裁の判例でも確定しているとおり実際に生活をしている居住実態がなければなりません。しかし、実際には居住実態がなく住民票だけを異動して市議選に立候補する者がいて、当選後辞職したり、居住実態について裁判で争うといったケースが後を絶ちません。海老名市議選においても過去にそういった候補者がいたとの住民の指摘もあります。

立候補しようとする者は、被選挙権をしっかりと理解しなければなりません。現在のような状況下では、立候補予定者の説明会で住所要件について十分な説明を尽くし、居住実態のない者は立候補してはならないことを強く知らしめるべきだと思いますが、見解を伺います。

また、局長は被選挙権をどう考えているのか伺います。

答（選挙管理委員会事務局長）：選挙人名簿への登録の有無の確認などをしており、当選人を決定する場面で、住所要件を満たさない者が紛れ込むことはないと考えています。事前説明会配布資料の最初に住所要件のことを書き、説明もしっかりしています。説明会に代理人が来た場合は、代理人がそのことを伝えることが肝要かと考えます。被選挙権の規定は当然守っていただくものです。周知は教育の場で行われて

おり、また社会全体で行うべき話で、改めて

選管が周知するのはちよつと悲しいという

のが私の感覚です。



市長公用車の運行管理について

太平会 山口 良樹

問 東京都知事の公用車の私的利用が都民はじめ多くの国民から批判されました。

そこで市長の公用車の運行記録を過去2年間精査したところ、私的利用だと思われる事実が多数判明した中で、看過できない事実として昨年11月7日と8日の運転日報が欠落し、7日の運転日報が9日に偽造修正された跡があることが確認されました。

もしこの記録操作が作為を以てなされた行為ならば刑法156条の「虚偽公文書作成罪」に該当する犯罪行為です。なぜこのような改ざんをされたのか説明してください。

答（市長）：7日は午前中、国分北の自治会で「閑上の記憶」という命を考える語り部の講演会がありました。これには公務のため公用車で行きました。そして、翌8日の午前中は、浜田自治会館竣工式などに行きましたが、その後の予定に私的なものがあったことから、自分で車を用意したので、8日は公用車を使用していません。

7日の運転日報が9日と修正されているとの指摘ですが、9日にはお通夜があり、公用車を使用しました。その際に7日と9日の運転手が違うため、9日の運転手が勘違いをして、9日の午前中乗ったものだと思われ、7日の日報の下段にそのまま記載し、あわせて日付も修正したのであると推測します。当然、運転日報の距離数は合っていますし、私的な利用はありません。

その他の質問

・教育委員会の業務姿勢について

